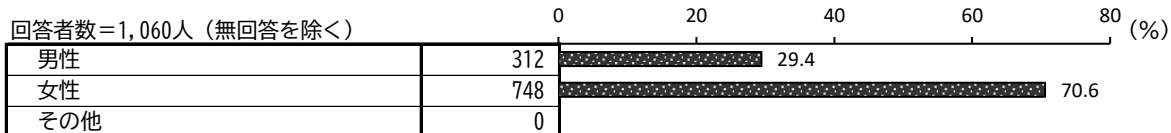


3 従業員向け調査の結果（従業員のがん検診の受診状況等に関する調査）

（１）自身に関することについて

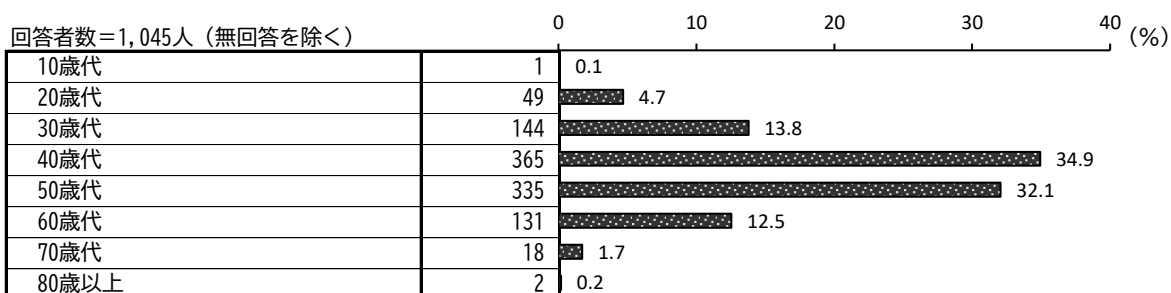
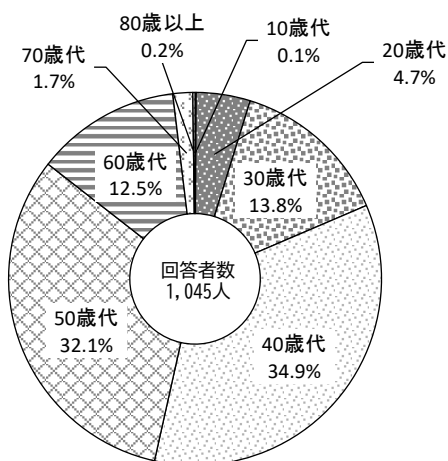
<性別>【問１】

回答者の性別は、「女性」が70.6%と最も多く、次いで「男性」が29.4%、「その他」はいなかった。



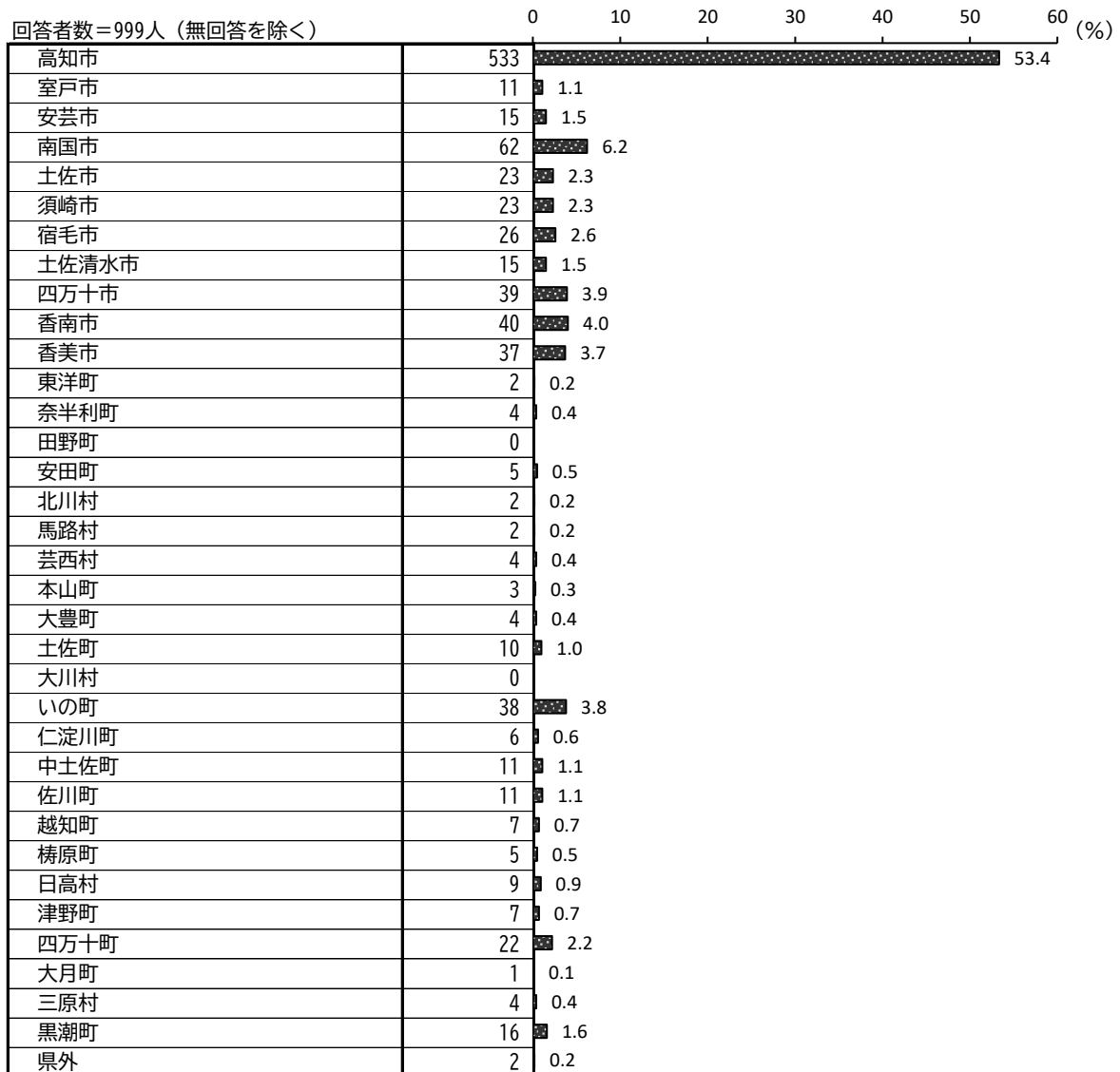
<年齢>【問１】

回答者の年齢は、「40歳代」が34.9%と最も多く、次いで「50歳代」が32.1%、「30歳代」が13.8%であった。



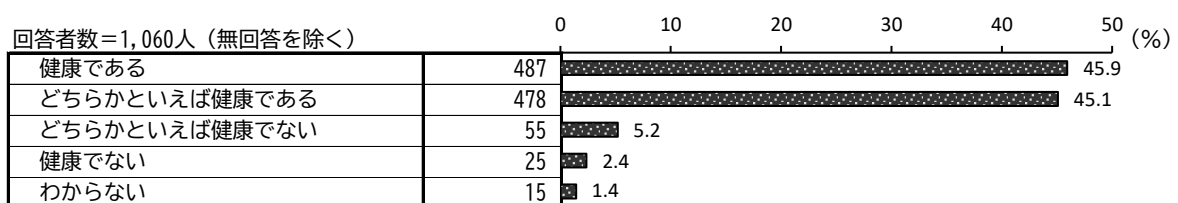
<市町村>【問1】

回答者が居住する市町村は、「高知市」が53.4%と最も多く、次いで「南国市」が6.2%、「香南市」が4.0%であった。



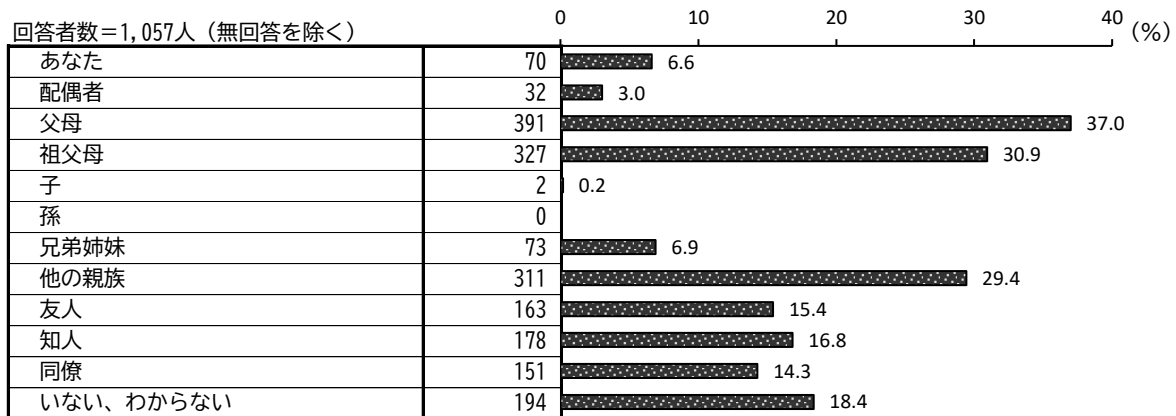
<今の健康状態>【問1】

回答者の今の健康状態は、「健康である」が45.9%と最も多く、次いで「どちらかといえば健康である」が45.1%、「どちらかといえば健康でない」が5.2%であった。



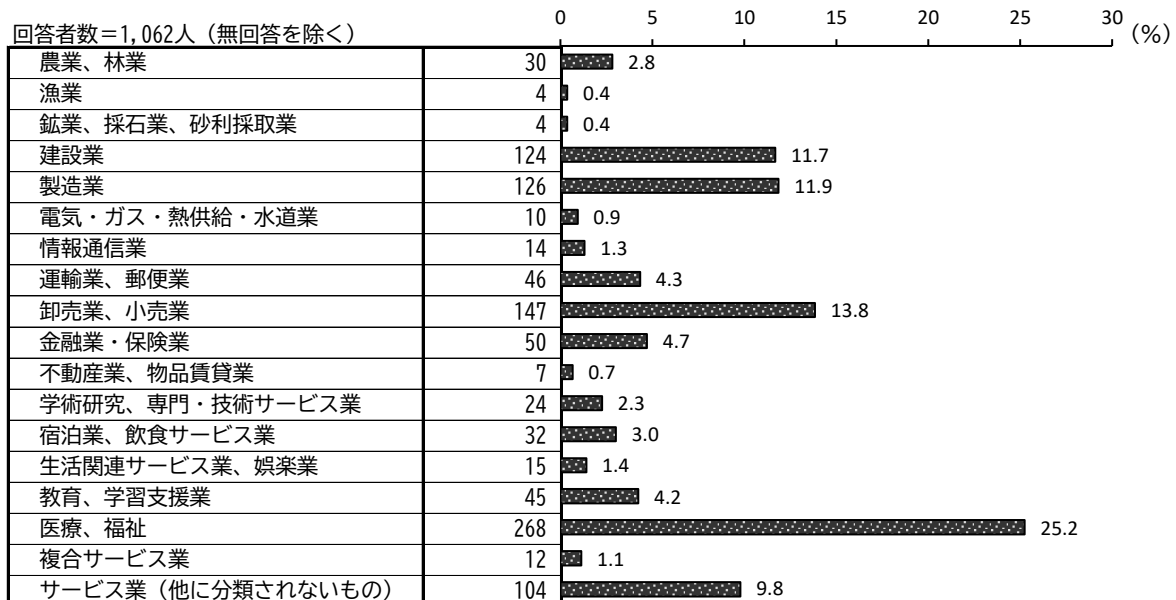
<周りでがんにかかった方がいるか>【問1】（複数回答）

回答者の周りでがんにかかった方がいるかは、「父母」が37.0%と最も多く、次いで「祖父母」が30.9%、「他の親族」が29.4%であった。



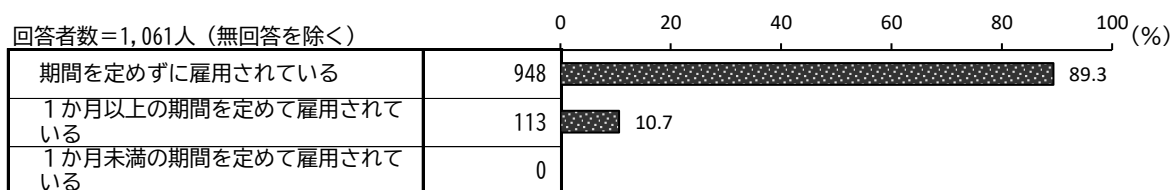
<仕事の業種>【問1】

回答者の仕事の業種は、「医療、福祉」が25.2%と最も多く、次いで「卸売業、小売業」が13.8%、「製造業」が11.9%であった。



<仕事の雇用形態>【問1】

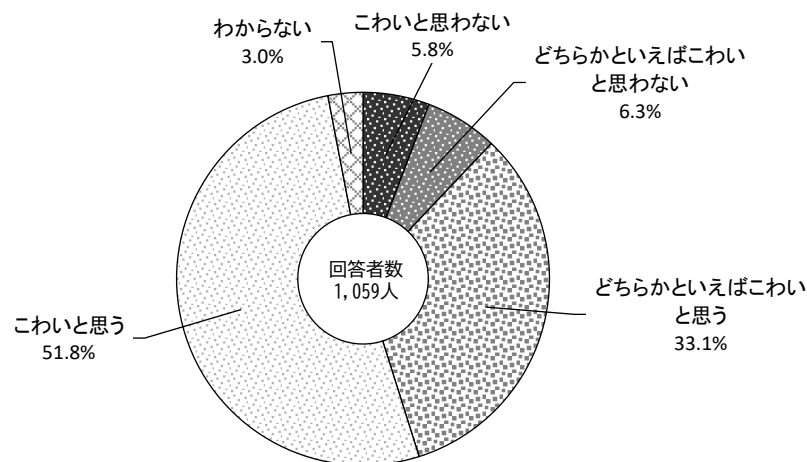
回答者の仕事の雇用形態は、「期間を定めずに雇用されている」が89.3%と最も多く、次いで「1か月以上の期間を定めて雇用されている」が10.7%、「1か月未満の期間を定めて雇用されている」はいなかった。



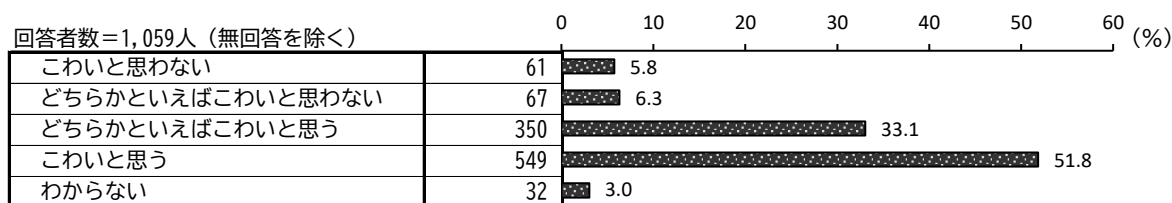
(2) がんに対する印象・認識について

<がんについてどのような印象を持っているか>【問2-1】

がんについてどのような印象を持っているかは、「こわいと思う」が51.8%と最も多く、次いで「どちらかといえばこわいと思う」が33.1%、「どちらかといえばこわいと思わない」が6.3%であった。



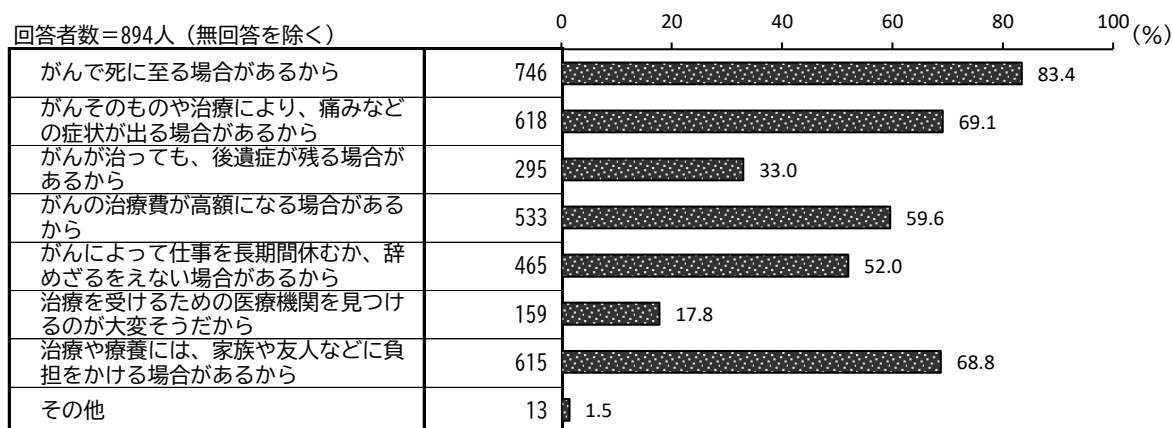
回答者数=1,059人（無回答を除く）



<がんをこわいと思う理由>【問2-2】（複数回答）

がんについての印象が「どちらかといえばこわいと思う」または「こわいと思う」の場合、こわいと思う理由は、「がんで死に至る場合があるから」が83.4%と最も多く、次いで「がんそのものや治療により、痛みなどの症状が出る場合があるから」が69.1%、「治療や療養には、家族や友人などに負担をかける場合があるから」が68.8%であった。

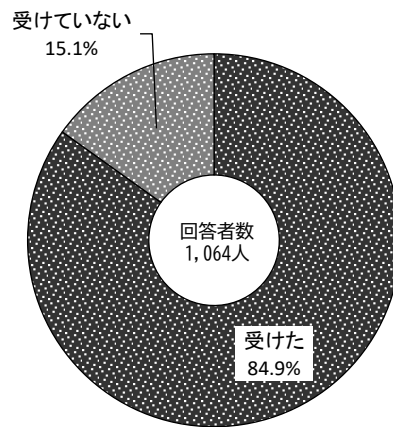
回答者数=894人（無回答を除く）



(3) 「がん検診」の受診状況について

<過去2年間のがん検診の受診状況>【問3】

過去2年間のがん検診の受診状況は、「受けた」が84.9%で、「受けていない」の15.1%より多かった。

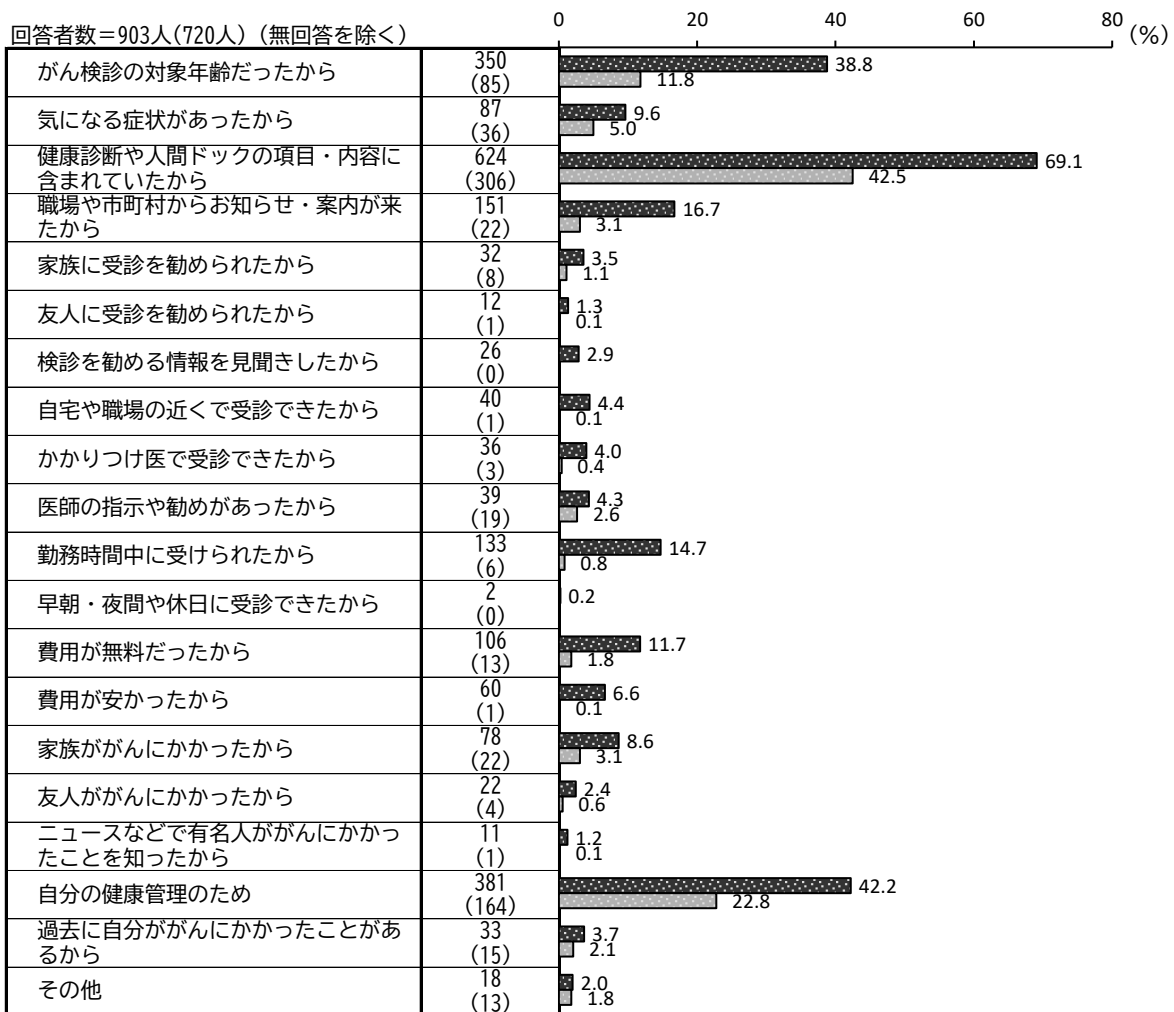


回答者数=1,064人（無回答を除く）		0	20	40	60	80	100 (%)
受けた	903						84.9
受けていない	161						15.1

<がん検診を受けた理由>【問4－1】（複数回答）

過去2年間にがん検診を受けた場合、がん検診を受けた理由は、「健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていたから」が69.1%と最も多く、次いで「自分の健康管理のため」が42.2%、「がん検診の対象年齢だったから」が38.8%であった。

また、がん検診を受けた理由のうち最も大きな理由でも、「健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていたから」が42.5%と最も多く、次いで「自分の健康管理のため」が22.8%、「がん検診の対象年齢だったから」が11.8%であった。



※括弧（ ）内はそのうち最も大きな理由の回答数

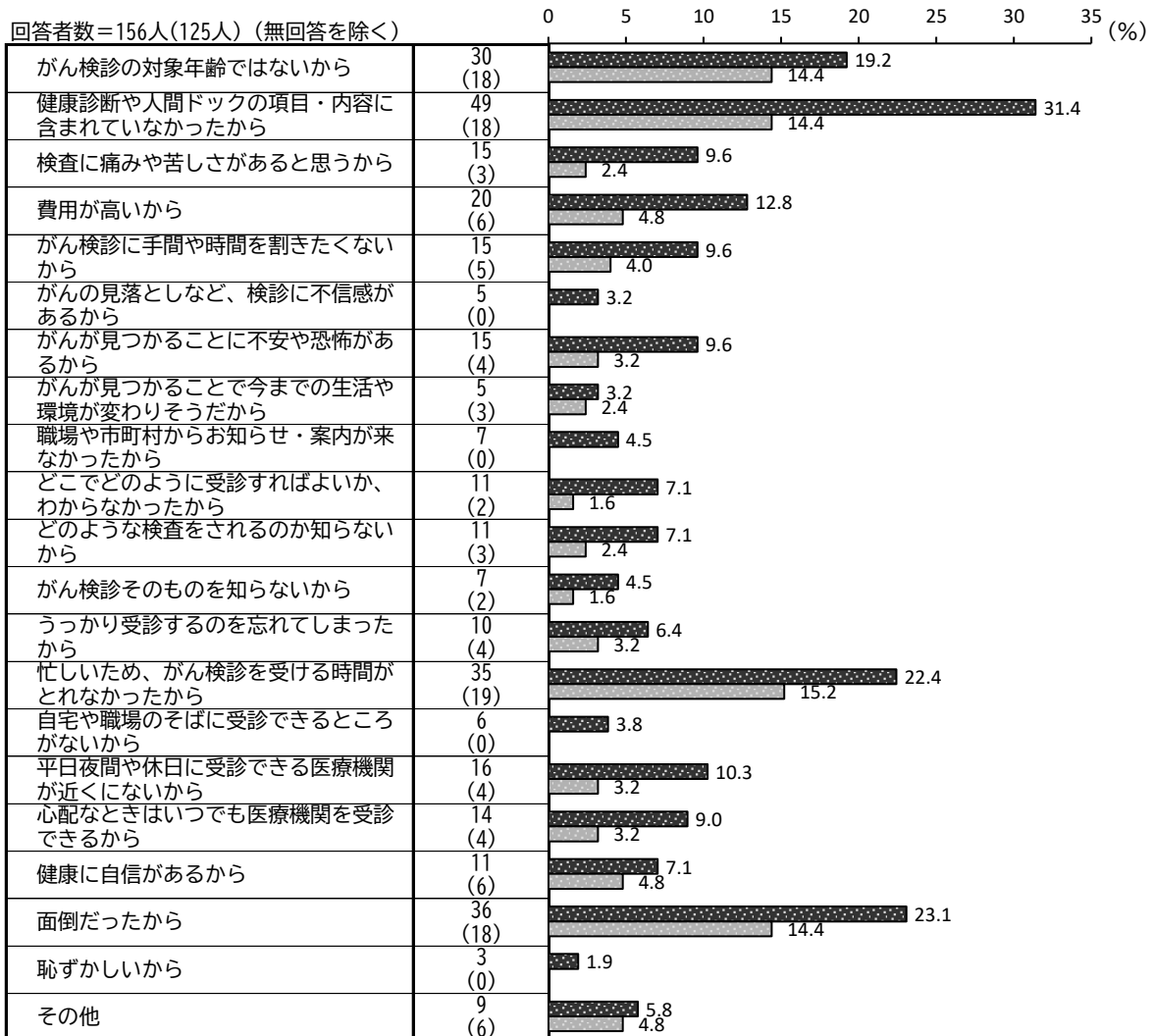
■受けた理由

□最も大きな理由

<がん検診を受けなかった理由>【問4-2】（複数回答）

過去2年間にがん検診を受けていない場合、がん検診を受けなかった理由は、「健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていなかったから」が31.4%と最も多く、次いで「面倒だったから」が23.1%、「忙しいため、がん検診を受ける時間がとれなかったから」が22.4%であった。

また、がん検診を受けなかった理由のうち最も大きな理由は、「忙しいため、がん検診を受ける時間がとれなかったから」が15.2%と最も多く、次いで「がん検診の対象年齢ではないから」と「健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていなかったから」、「面倒だったから」がそれぞれ14.4%であった。



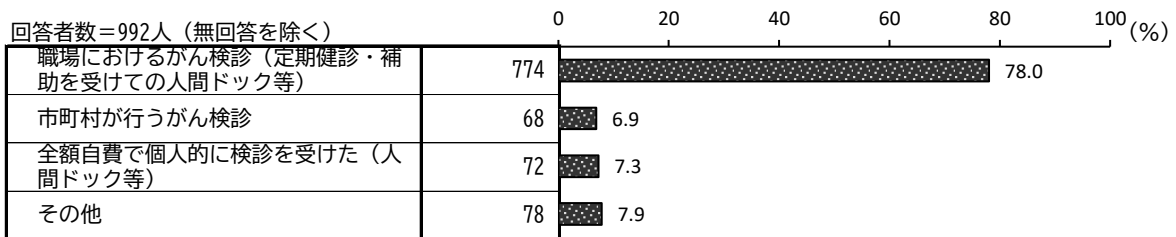
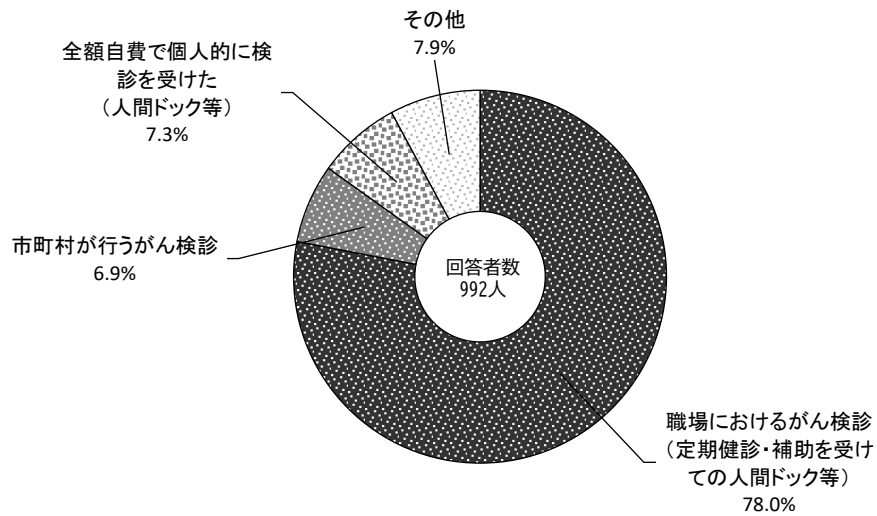
※括弧（ ）内はそのうち最も大きな理由の回答数

■受けなかった理由

□最も大きな理由

<今まで、がん検診をどのような機会に受けたか>【問5】

今まで、がん検診をどのような機会に受けたかは、「職場におけるがん検診（定期健診・補助を受けての人間ドック等）」が78.0%と最も多く、次いで「その他」が7.9%、「全額自費で個人的に検診を受けた（人間ドック等）」が7.3%であった。

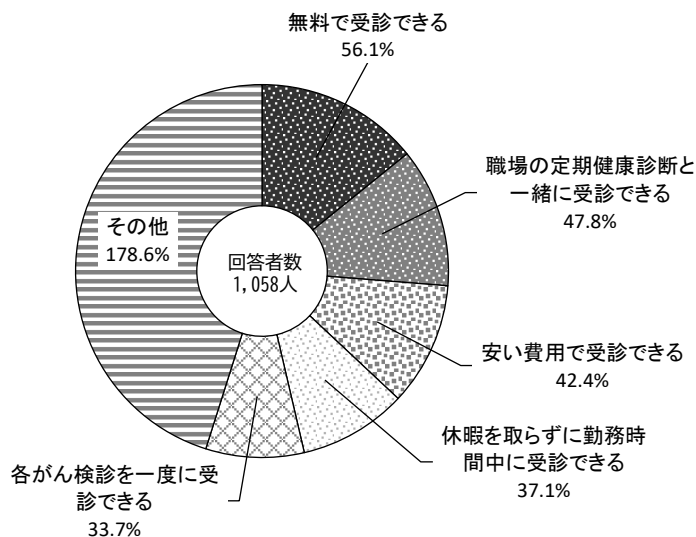


<どのようなことがあれば、がん検診を受けたいと思うか>【問6】（複数回答）

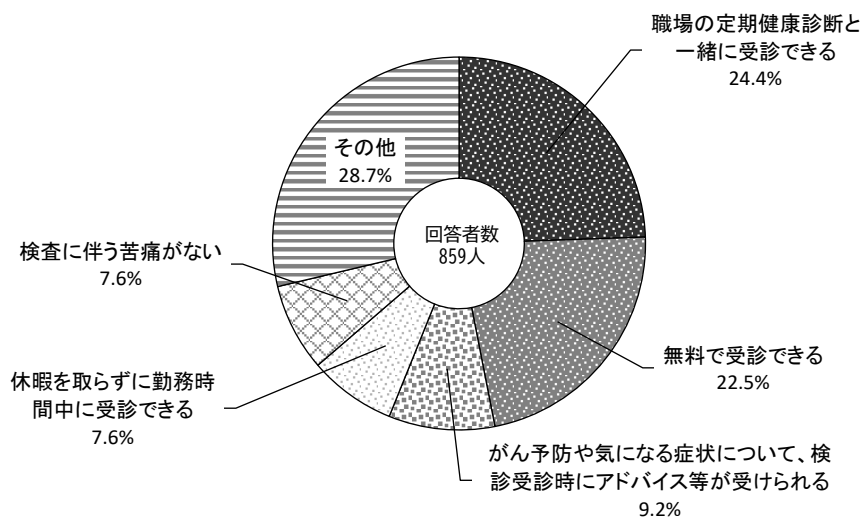
どのようなことがあれば、がん検診を受けたいと思うかは、「無料で受診できる」が56.1%と最も多く、次いで「職場の定期健康診断と一緒に受診できる」が47.8%、「安い費用で受診できる」が42.4%であった。

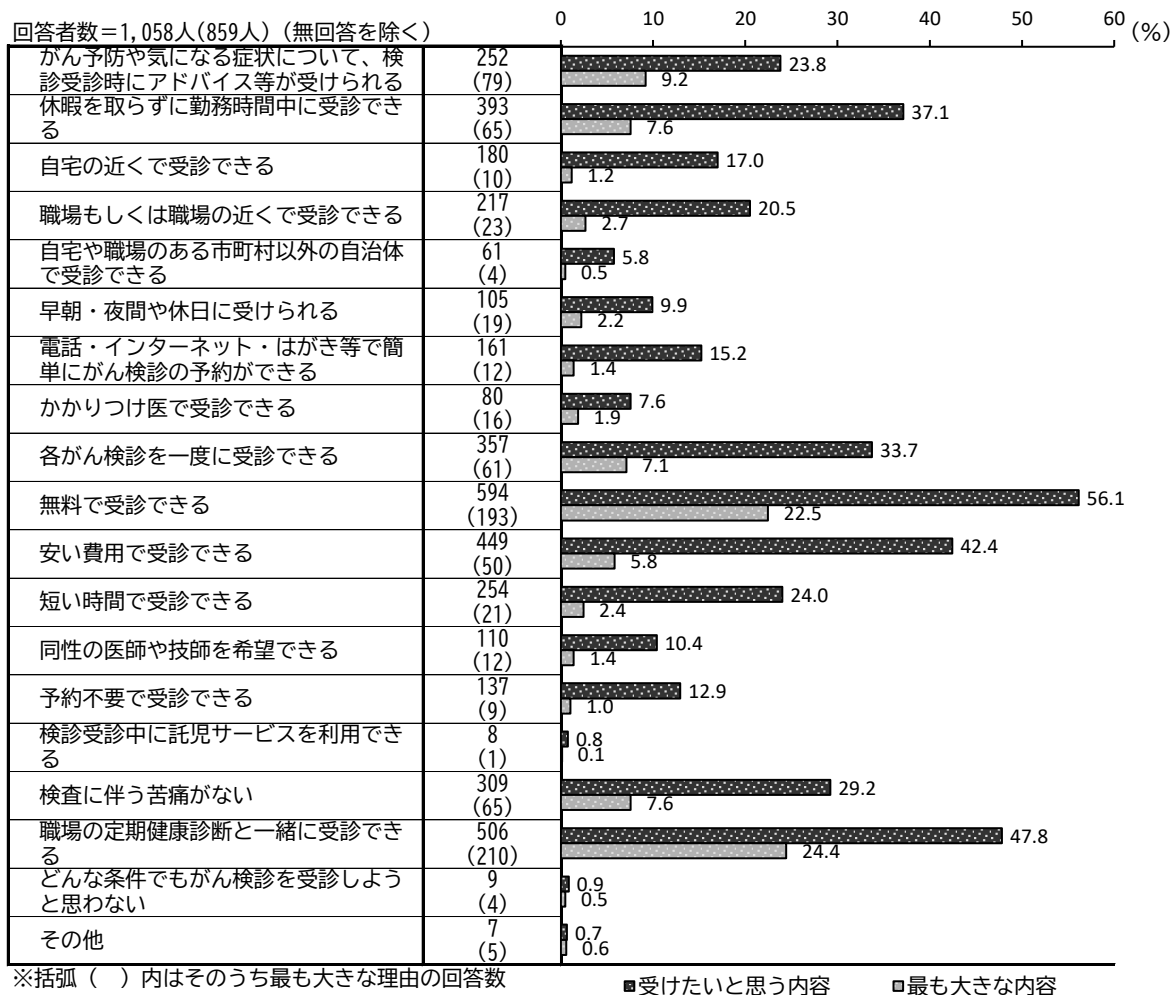
また、そのうち最も大きなものは、「職場の定期健康診断と一緒に受診できる」が24.4%と最も多く、次いで「無料で受診できる」が22.5%、「がん予防や気になる症状について、検診受診時にアドバイス等が受けられる」が9.2%であった。

〈回答比率の上位5項目と他の選択肢計（複数回答）〉



〈回答比率の上位5項目と他の選択肢計（最も大きなもの）〉





<がん検診を受けた理由に対するどのようなことがあれば、がん検診を受けたいと思うか>

【問4-1】（複数回答）×【問6】（複数回答）

がん検診を受けた理由が「勤務時間中に受けられたから」では、がん検診を受けたいと思うのは「休暇を取らずに勤務時間中に受診できる」が74.0%と最も多く、それ以外の理由では、「無料で受診できる」が56.3%から63.2%と最も多かった。

受けた理由 (上位5項目) 【問4-1】 受けたと思うこと (上位5項目) 【問6】	(無回答者を除く)	無料で受診できる	職場の定期健康診断と一緒に受診できる	安い費用で受診できる	休暇を取らずに勤務時間中に受診できる	各がん検診を一度に受診できる	その他
回答者数（無回答を除く）	1,058	594	506	449	393	357	1,890
比率	100.0	56.1	47.8	42.4	37.1	33.7	178.6
健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていたから	623	56.3	54.3	44.8	40.4	37.7	176.7
自分の健康管理のため	378	59.3	58.7	54.8	38.4	42.3	204.8
がん検診の対象年齢だったから	345	63.2	56.8	44.9	43.5	36.8	197.4
職場や市町村からお知らせ・案内が来たから	149	62.4	53.7	50.3	40.3	40.9	215.4
勤務時間中に受けられたから	131	71.0	67.2	42.7	74.0	46.6	215.3
その他	597	894.9	863.6	901.8	553.0	642.7	3817.6

<がん検診を受けなかった理由に対するどのようなことがあれば、がん検診を受けたいと思うか>

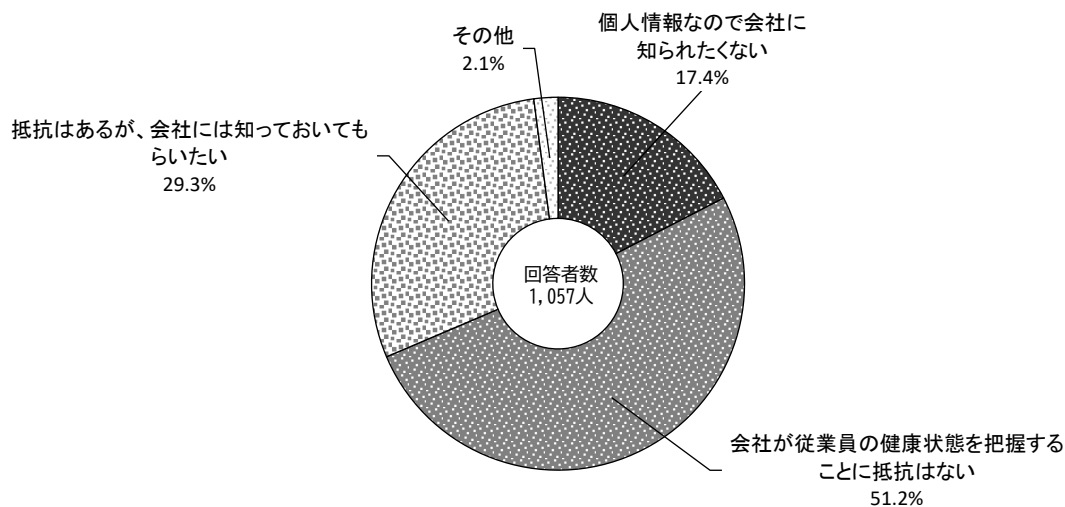
【問4-2】（複数回答）×【問6】（複数回答）

がん検診を受けなかった理由がいずれのときも、がん検診を受けたいと思うのは「無料で受診できる」が50.0%から90.0%と最も多かった。

受けたいと思うこと (上位5項目) 【問6】 受けなかった理由 (上位5項目) 【問4-2】	(無回答者を除く)	無料で受診できる	職場の定期健康診断と一緒に受診できる	安い費用で受診できる	休暇を取らずに勤務時間中に受診できる	各がん検診を一度に受診できる	その他
回答者数（無回答を除く）	1,058	594	506	449	393	357	1,890
比率	100.0	56.1	47.8	42.4	37.1	33.7	178.6
健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていなかったから	49	55.1	44.9	32.7	44.9	34.7	185.7
面倒だったから	36	50.0	44.4	30.6	41.7	30.6	197.2
忙しいため、がん検診を受ける時間がとれなかったから	35	60.0	31.4	25.7	40.0	31.4	225.7
がん検診の対象年齢ではないから	30	70.0	36.7	53.3	40.0	33.3	176.7
費用が高いから	20	90.0	35.0	55.0	40.0	35.0	150.0
その他	160	909.4	532.0	468.2	574.0	501.8	3923.8

<会社の担当者に結果を把握されることについて>【問7】

会社の担当者に結果を把握されることについては、「会社が従業員の健康状態を把握することに抵抗はない」が51.2%と最も多く、次いで「抵抗はあるが、会社には知っておいてもらいたい」が29.3%、「個人情報なので会社には知られたくない」が17.4%であった。

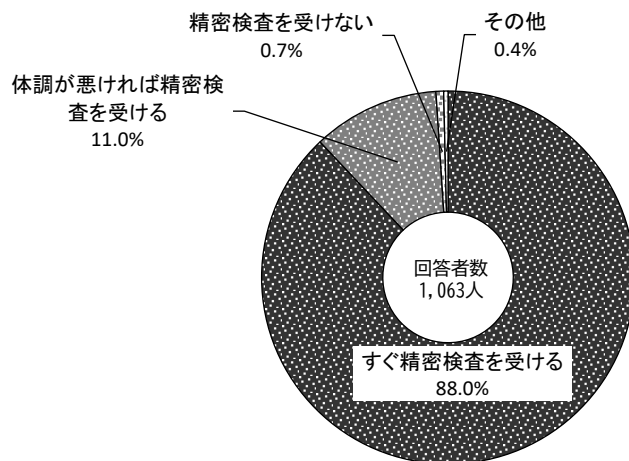


回答者数=1,057人（無回答を除く）

回答内容	人数	割合 (%)
個人情報なので会社には知られたくない	184	17.4
会社が従業員の健康状態を把握することに抵抗はない	541	51.2
抵抗はあるが、会社には知っておいてもらいたい	310	29.3
その他	22	2.1

<精密検査の対象となった場合、どう行動すると思うか>【問8】

精密検査の対象となった場合、どう行動すると思うかは、「すぐ精密検査を受ける」が88.0%と最も多く、次いで「体調が悪ければ精密検査を受ける」が11.0%、「精密検査を受けない」が0.7%であった。



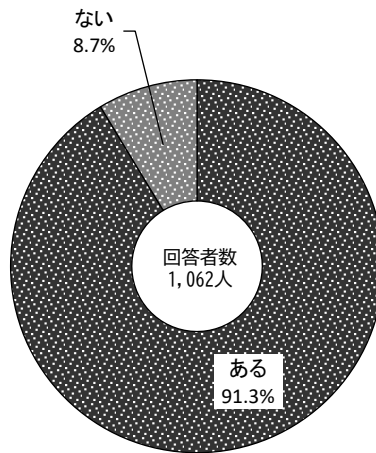
回答者数=1,063人（無回答を除く）

回答内容	人数	割合 (%)
すぐ精密検査を受ける	935	88.0
体調が悪ければ精密検査を受ける	117	11.0
精密検査を受けない	7	0.7
その他	4	0.4

(4) がん検診受診情報の入手経緯について

<がん検診の受診を勧める情報を見聞きしたことがあるか>【問9－1】

がん検診の受診を勧める情報を見聞きしたことがあるかは、「ある」が91.3%で、「ない」の8.7%より多かった。



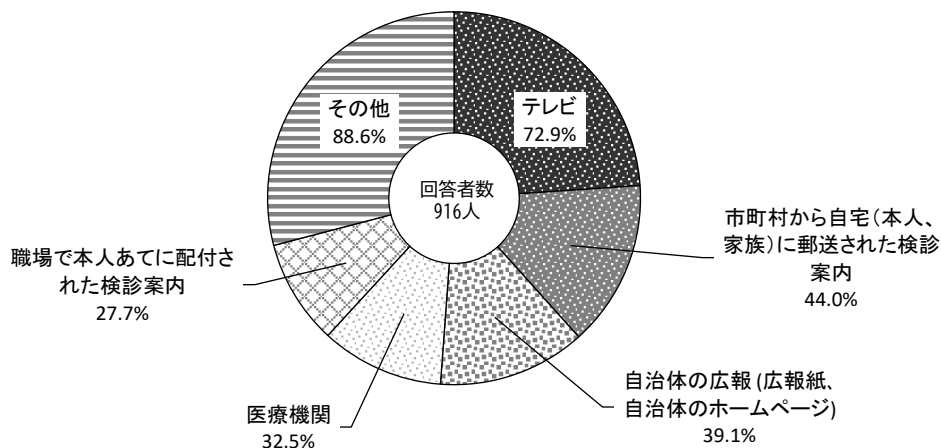
回答者数=1,062人（無回答を除く）

	0	20	40	60	80	100 (%)
ある	970					91.3
ない	92					8.7

<がん検診の受診を勧める情報をどこで見聞きしたか>【問9-2】（複数回答）

がん検診の受診を勧める情報を見聞きしたことがある場合、どこで見聞きしたかは、「テレビ」が72.9%と最も多く、次いで「市町村から自宅（本人、家族）に郵送された検診案内」が44.0%、「自治体の広報（広報紙、自治体のホームページ）」が39.1%であった。

〈回答比率が大きい順に5つとその他の選択肢合計比率（複数回答）〉

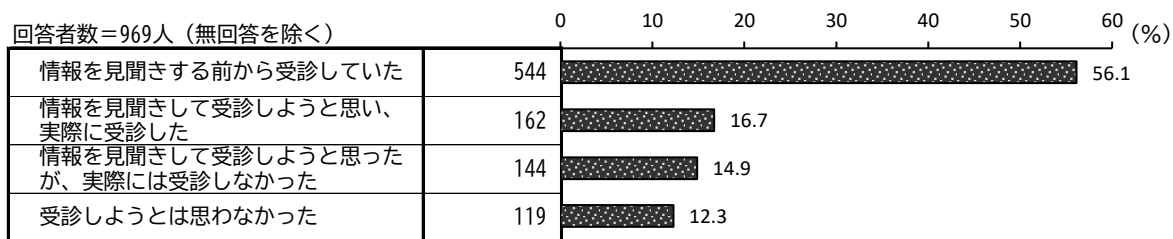
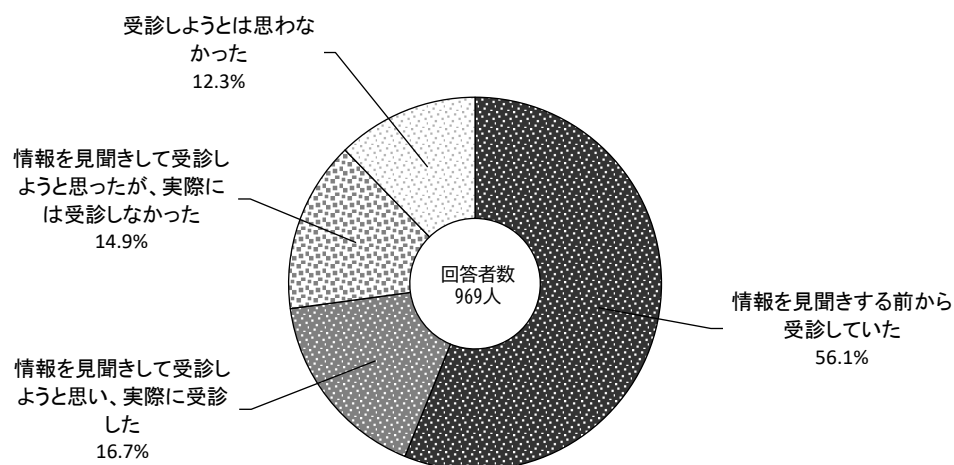


回答者数=916人（無回答を除く）

	回答者数	割合 (%)
テレビ	668	72.9
ラジオ	78	8.5
自治体の広報（広報紙、自治体のホームページ）	358	39.1
インターネット（自治体のホームページ以外）	148	16.2
職場の広報や連絡等（広報紙、電子メール）	192	21.0
市町村から自宅（本人、家族）に郵送された検診案内	403	44.0
職場で本人あてに配付された検診案内	254	27.7
医療機関	298	32.5
薬局	72	7.9
公共施設（役所、保健所、公民館等）に設置したポスター、チラシ等	180	19.7
まちなか、商業施設に設置したポスター	68	7.4
新聞	69	7.5
その他	5	0.5

<がん検診の受診を勧める情報を見聞きして、受診しようと思ったか。または受診したか>
【問9-3】

がん検診の受診を勧める情報を見聞きしたことがある場合、見聞きして受診しようと思ったか。または受診したかは、「情報を見聞きする前から受診していた」が56.1%と最も多く、次いで「情報を見聞きして受診しようと思い、実際に受診した」が16.7%、「情報を見聞きして受診しようと思ったが、実際には受診しなかった」が14.9%であった。



<がん検診の受診を勧める情報をどこで見聞きしたかに対するがん検診の受診を勧める情報を見聞きして、受診しようと思ったか。または受診したか>

【問9-2】（複数回答）×【問9-3】

「情報を見聞きして受診しようと思い、実際に受診した」とき、見聞きしたのが「職場で本人あてに配付された検診案内」が22.9%と最も多く、次いで「市町村から自宅（本人、家族）に郵送された検診案内」が22.3%、「職場の広報や連絡等（広報紙、電子メール）」が21.5%であった。

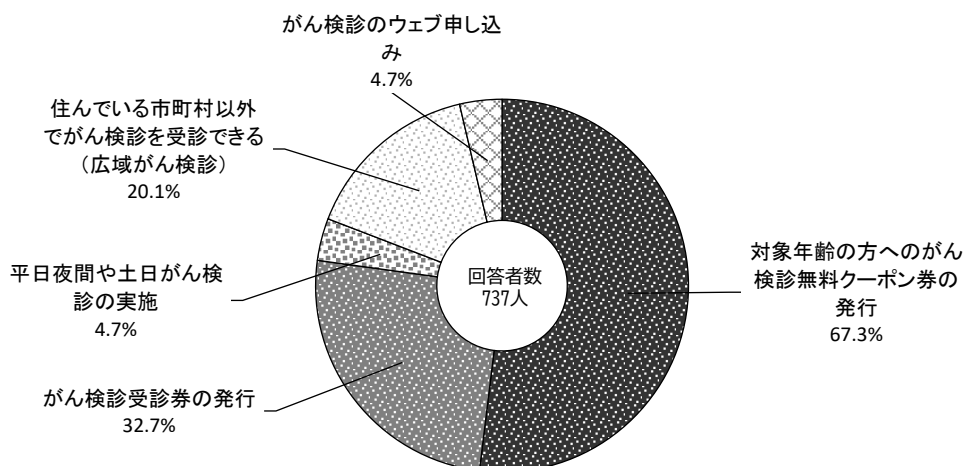
一方、「情報を見聞きして受診しようと思ったが、実際には受診しなかった」ときは、「薬局」が22.2%と最も多く、次いで「ラジオ」が21.8%、「まちなか、商業施設に設置したポスター」が17.6%であった。

			受診しようと思ったか。または受診したか			
			か情報を受診して見聞きした前	際診情にし報を受診しようと思いきいて実受	なが診情かつ実よを見聞かた際うに思きして受診たし受	な受診しようとは思わ
回答者数=915人 (無回答を除く)						
凡例		回答数				
どこで見聞きしたか	テレビ	668	57.8	14.7	14.8	12.7
	ラジオ	78	57.7	10.3	21.8	10.3
	自治体の広報（広報紙、自治体のホームページ）	358	57.5	16.2	15.6	10.6
	インターネット（自治体のホームページ以外）	148	49.3	17.6	14.9	18.2
	職場の広報や連絡等（広報紙、電子メール）	191	59.7	21.5	11.5	7.3
	市町村から自宅（本人、家族）に郵送された検診案内	403	53.8	22.3	15.1	8.7
	職場で本人あてに配付された検診案内	253	62.1	22.9	9.9	5.1
	医療機関	298	57.4	18.1	13.8	10.7
	薬局	72	55.6	11.1	22.2	11.1
	公共施設（役所、保健所、公民館等）に設置したポスター、チラシ等	179	55.9	14.0	16.2	14.0
	まちなか、商業施設に設置したポスター	68	54.4	14.7	17.6	13.2
	新聞	69	59.4	18.8	10.1	11.6
	その他	5	60.0	20.0	20.0	

グラフ単位（%）

<居住する市町村のがん対策の取組の認知度>【問10】（複数回答）

居住する市町村のがん対策の取組の認知度は、「対象年齢の方へのがん検診無料クーポン券の発行」が67.3%と最も多く、次いで「がん検診受診券の発行」が32.7%、「住んでいる市町村以外でがん検診を受診できる（広域がん検診）」が20.1%であった。



回答者数=737人（無回答を除く）

	0	20	40	60	80 (%)
対象年齢の方へのがん検診無料クーポン券の発行	496				67.3
がん検診受診券の発行	241				32.7
平日夜間や土日がん検診の実施	35				4.7
住んでいる市町村以外でがん検診を受診できる（広域がん検診）」	148				20.1
がん検診のウェブ申し込み	35				4.7

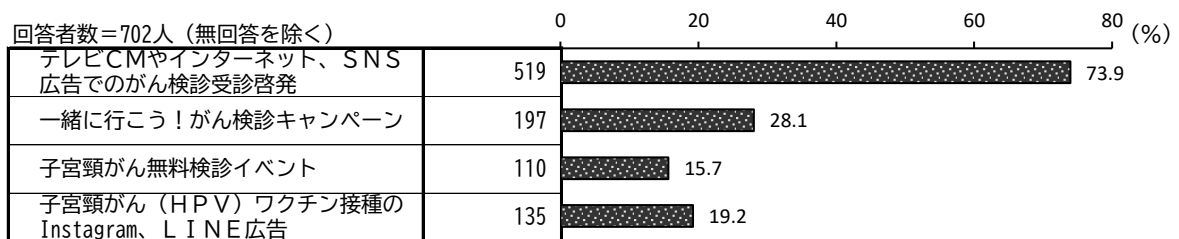
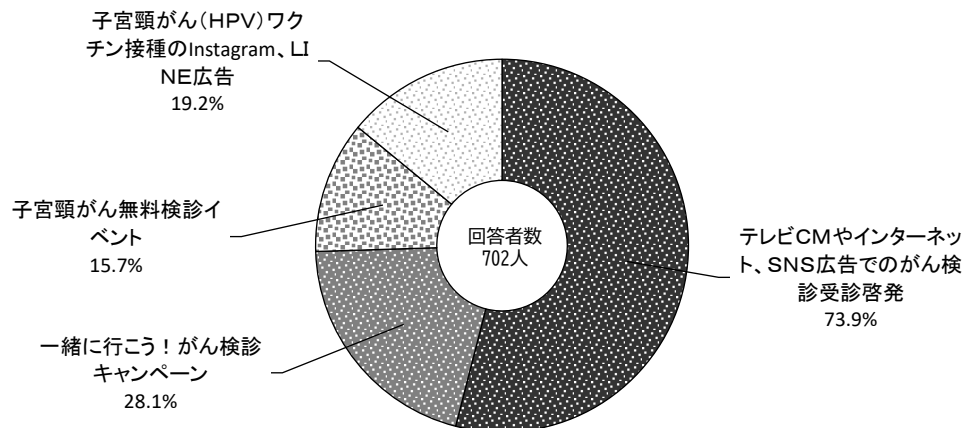
<がん検診を受けなかった理由に対する居住する市町村のがん対策の取組の認知度>
【問4-2】（複数回答）×【問10】（複数回答）

いずれのがん検診を受けなかった理由でも、市町村のがん対策の取組のうち「対象年齢の方へのがん検診無料クーポン券の発行」を知っていた割合が多かった。

市町村のがん対策 【問10】 受けなかった理由 【問4-2】	回答者数 (無回答を除く)	検診対象年齢の方への クーポン券の 発行	がん検診受診券の 発行	平日夜間や土日がん検 診の実施	住んでいる市町村で がん検診を受診でき る(広域がん検診)	がん検診の 申し込み のウェブ 申し
回答者数（無回答を除く）	737	496	241	35	148	35
比率	100.0	67.3	32.7	4.7	20.1	4.7
がん検診の対象年齢ではないから	15	53.3	13.3	-	20.0	20.0
健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていなかったから	27	59.3	22.2	3.7	7.4	18.5
検査に痛みや苦しさがあると思うから	5	80.0	-	-	20.0	-
費用が高いから	11	63.6	-	-	36.4	-
がん検診に手間や時間を割きたくないから	11	36.4	27.3	-	36.4	9.1
がんの見落としなど、検診に不信感があるから	3	33.3	33.3	-	33.3	-
がんが見つかることに不安や恐怖があるから	10	60.0	20.0	-	20.0	-
がんが見つかることで今までの生活や環境が変わりそうだから	3	33.3	33.3	33.3	33.3	-
職場や市町村からお知らせ・案内が来なかったから	3	33.3	-	-	33.3	33.3
どこでどのように受診すればよいか、わからなかったから	4	50.0	-	-	50.0	-
どのような検査をされるのか知らないから	7	42.9	-	14.3	14.3	28.6
がん検診そのものを知らないから	4	25.0	-	25.0	25.0	25.0
うっかり受診するのを忘れてしまったから	8	37.5	50.0	25.0	50.0	-
忙しいため、がん検診を受ける時間がとれなかったから	27	55.6	22.2	7.4	22.2	18.5
自宅や職場のそばに受診できる場所がないから	3	66.7	66.7	33.3	-	-
平日夜間や休日に受診できる医療機関が近くにないから	8	75.0	25.0	12.5	25.0	25.0
心配なときはいつでも医療機関を受診できるから	9	66.7	44.4	22.2	-	11.1
健康に自信があるから	6	83.3	16.7	33.3	-	-
面倒だったから	19	57.9	31.6	5.3	31.6	5.3
恥ずかしいから	1	100.0	-	-	-	-
その他	3	100.0	-	-	-	-

<県のがん対策の取組の認知度>【問11】（複数回答）

県のがん対策の取組の認知度は、「テレビCMやインターネット、SNS広告でのがん検診受診啓発」が73.9%と最も多く、次いで「一緒に行こう！がん検診キャンペーン」が28.1%、「子宮頸がん（HPV）ワクチン接種のInstagram、LINE広告」が19.2%であった。



<がん検診を受けなかった理由に対する県のがん対策の取組の認知度>

【問4-2】（複数回答）×【問11】（複数回答）

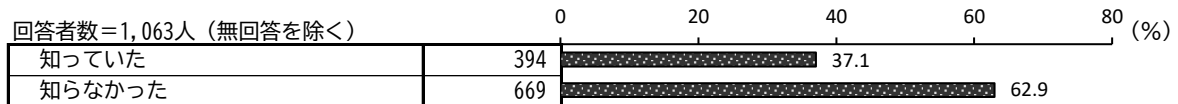
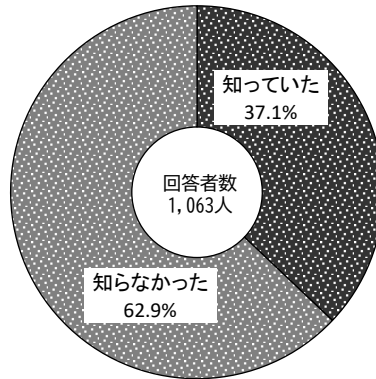
がん検診を受けなかった理由のうち「がん検診そのものを知らないから」以外で、県のがん対策の取組のうち「テレビCMやインターネット、SNS広告でのがん検診受診啓発」を知っていた割合が多かった。

県のがん対策 【問11】	（無回答を 除く）	テレビCMやインターネット、SNS広告でがん検診受診啓発	一緒にやろう！がん検診	子宮頸がん無料検診	子宮頸がん（HPV）検査の啓発、インターネット広告
受けなかった理由 【問4-2】					
回答者数（無回答を除く）	702	519	197	110	135
比率	100.0	73.9	28.1	15.7	19.2
がん検診の対象年齢ではないから	20	85.0	20.0	10.0	15.0
健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていなかったから	33	75.8	27.3	15.2	18.2
検査に痛みや苦しさがあると思うから	6	100.0	16.7	16.7	16.7
費用が高いから	12	75.0	16.7	33.3	16.7
がん検診に手間や時間を割きたくないから	9	66.7	11.1	33.3	-
がんの見落としなど、検診に不信感があるから	4	75.0	25.0	25.0	-
がんが見つかることに不安や恐怖があるから	10	60.0	30.0	40.0	30.0
がんが見つかることで今までの生活や環境が変わりそうだから	4	50.0	50.0	25.0	25.0
職場や市町村からお知らせ・案内が来なかったから	5	60.0	40.0	40.0	20.0
どこでどのように受診すればよいか、わからなかったから	6	33.3	-	50.0	33.3
どのような検査をされるのか知らないから	7	71.4	-	28.6	14.3
がん検診そのものを知らないから	3	-	-	100.0	-
うっかり受診するのを忘れてしまったから	6	83.3	33.3	33.3	33.3
忙しいため、がん検診を受ける時間がとれなかったから	23	69.6	17.4	26.1	17.4
自宅や職場のそばに受診できる場所がないから	3	66.7	33.3	-	-
平日夜間や休日に受診できる医療機関が近くにないから	10	50.0	20.0	30.0	30.0
心配なときはいつでも医療機関を受診できるから	8	75.0	37.5	62.5	37.5
健康に自信があるから	5	80.0	40.0	20.0	20.0
面倒だったから	19	63.2	26.3	36.8	21.1
恥ずかしいから	2	100.0	-	-	50.0
その他	3	66.7	33.3	33.3	33.3

（５）治療と仕事の両立支援について

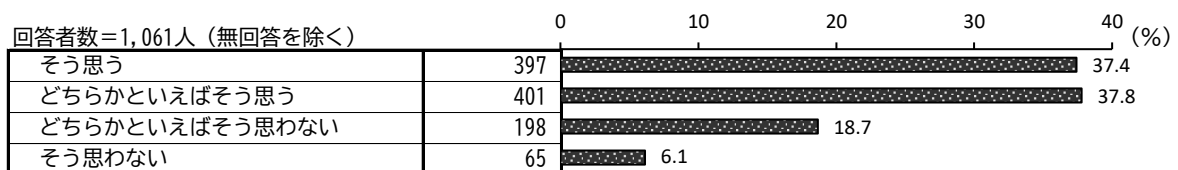
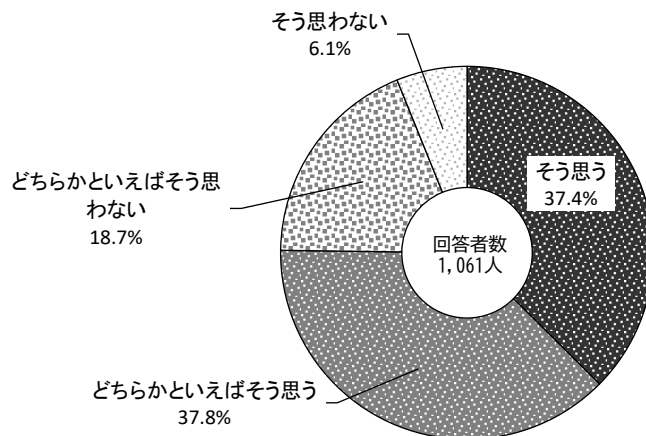
<「治療と仕事の両立支援」の取組の認知度>【問12】

「治療と仕事の両立支援」の取組の認知度は、「知らなかった」が62.9%で、「知っている」の37.1%より多かった。



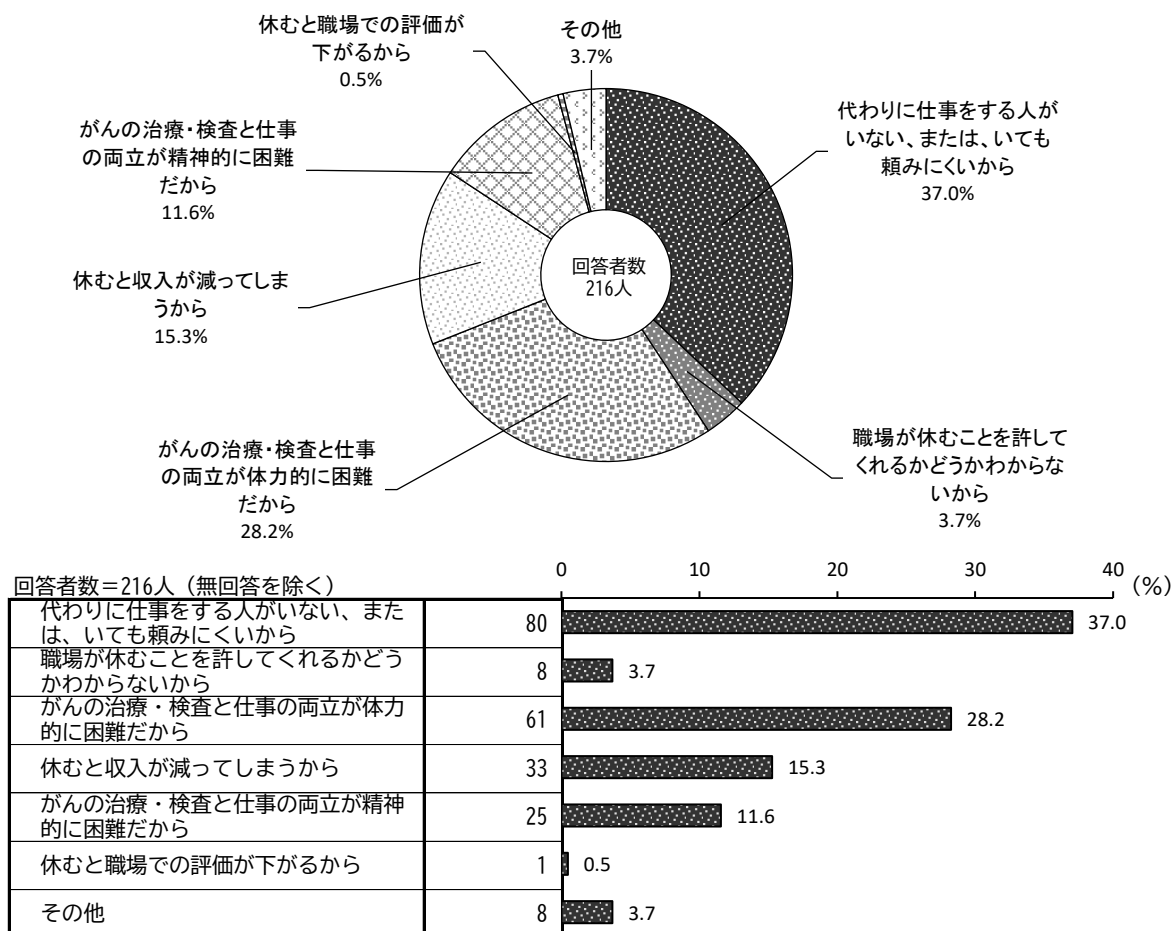
<今の職場は、がんの治療や検査をしながら働き続けられる環境だと思うか>【問13】

今の職場は、がんの治療や検査をしながら働き続けられる環境だと思うかは、「どちらかといえばそう思う」が37.8%と最も多く、次いで「そう思う」が37.4%、「どちらかといえばそう思わない」が18.7%であった。



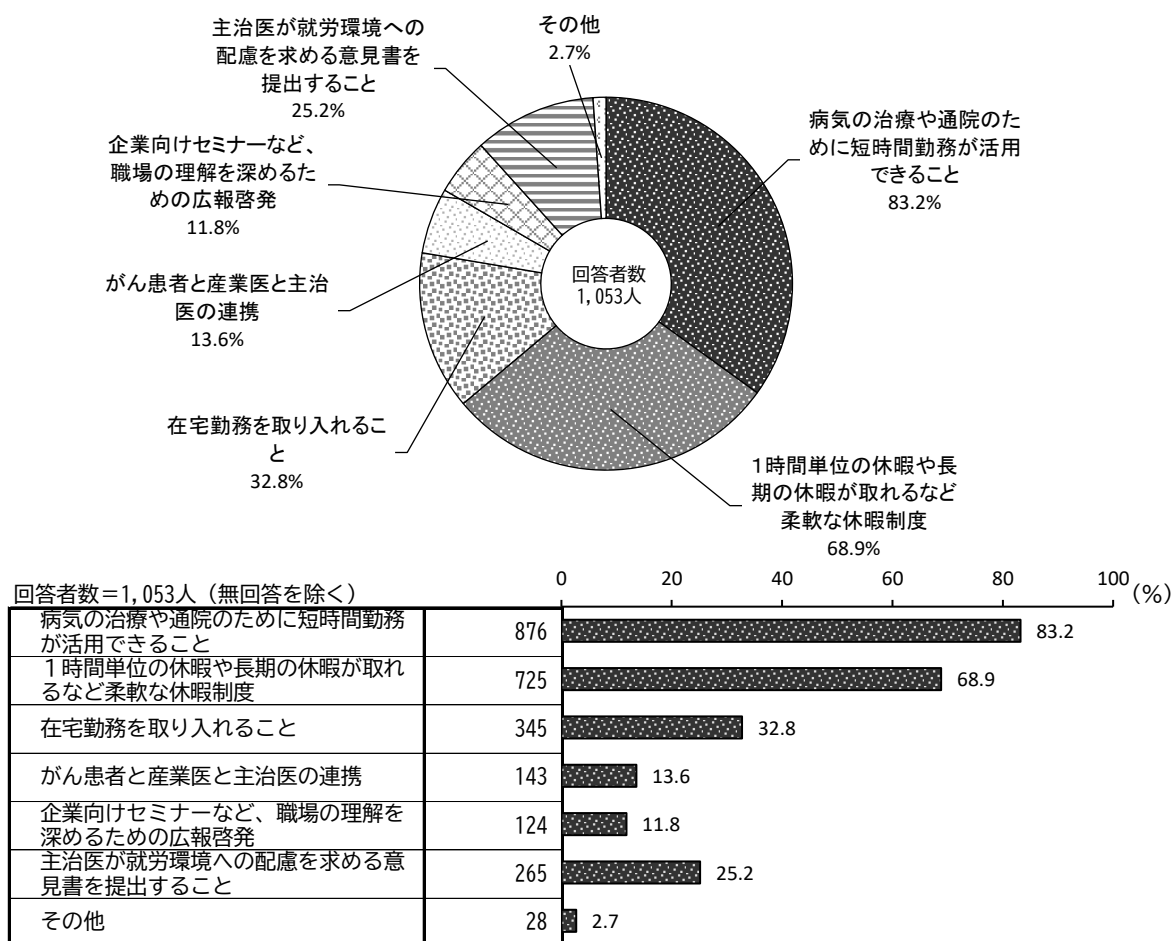
<がんの治療や検査をしながら働き続けることを難しくさせている最も大きな理由>【問14】

今の職場は、がんの治療や検査をしながら働き続けられる環境だと「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」の場合、がんの治療や検査をしながら働き続けることを難しくさせている最も大きな理由は、「代わりに仕事をする人がいない、または、いても頼みにくいから」が37.0%と最も多く、次いで「がんの治療・検査と仕事の両立が体力的に困難だから」が28.2%、「休むと収入が減ってしまうから」が15.3%であった。



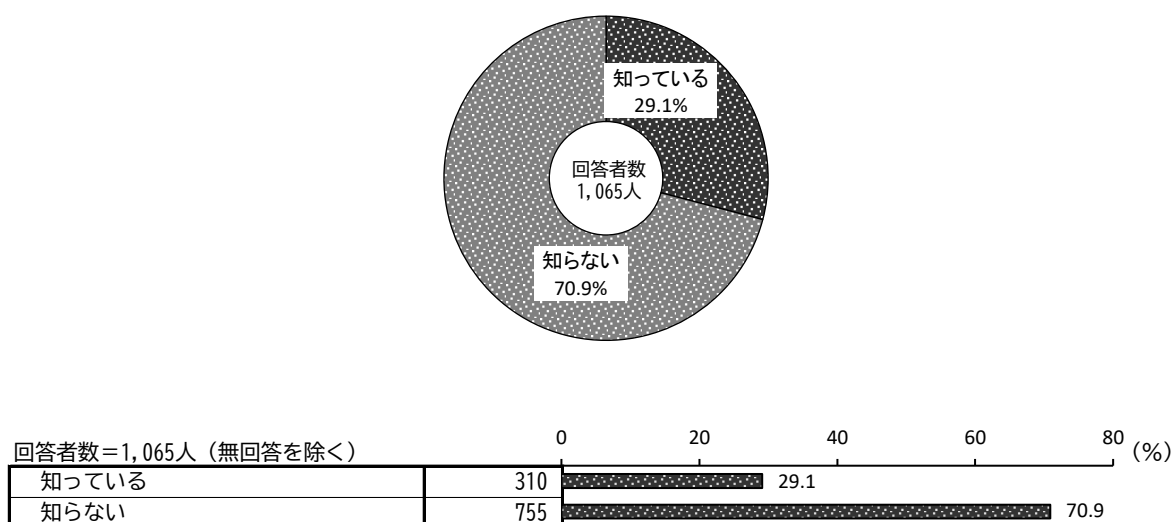
<働く意欲のあるがん患者が働き続けられるようにするためには、どのような取組が必要だと思うか>【問15】（複数回答）

働く意欲のあるがん患者が働き続けられるようにするためには、どのような取組が必要だと思うかは、「病気の治療や通院のために短時間勤務が活用できること」が83.2%と最も多く、次いで「1時間単位の休暇や長期の休暇が取れるなど柔軟な休暇制度」が68.9%、「在宅勤務を取り入れること」が32.8%であった。



<「がん相談支援センター」や「がん相談センターこうち」の認知度>【問16】

「がん相談支援センター」や「がん相談センターこうち」の認知度は、「知らない」が70.9%で、「知っている」の29.1%より多かった。



<周りでがんにかかった方に対する「がん相談支援センター」や「がん相談センターこうち」の認知度>

【問1】（複数回答）×【問16】

周りでがんにかかった方がいずれの方でも、「がん相談支援センター」や「がん相談センターこうち」を「知らない」割合が半数以上であった。

			「がん相談支援センター」や「がん相談センターこうち」の認知度	
			知っている	知らない
回答者数=1,057人 (無回答を除く)				
凡例		回答数		
周りでがんにかかった方	あなた	70	45.7	54.3
	配偶者	32	40.6	59.4
	父母	391	30.7	69.3
	祖父母	327	29.4	70.6
	子	2	50.0	50.0
	孫	0		
	兄弟姉妹	73	30.1	69.9
	他の親族	311	30.5	69.5
	友人	163	35.0	65.0
	知人	178	32.0	68.0
	同僚	151	37.7	62.3
	いない、わからない	194	28.9	71.1

グラフ単位 (%)